

成果報告書1：海洋教育のデザイン

1. 学校名

大船渡市立綾里中学校

2. 活動テーマ名

ふるさとを知り、見つめ、自己の将来・生き方を考えよう

3. 実践の概要・ねらい

(1) ねらい

- ① 地域の素晴らしさに学びながら、自ら課題を設定し、考え、体験活動等で学んだことを振り返り、自分のことばで発信する。
- ② 自らの将来について考え、課題を持って調べ学習や体験活動に取組、学んだこと自分のことばで表現することで振り返り、自己のより良い生き方へつなげる。
- ③ 郷土の復興に力を注ぐ人々から、生き方、考え方を学び、復興を目指す人々や社会との関わりを通して生き方を考える。

(2) 実践の概要

- ① 総合的な学習の時間・社会科・家庭科の時間を横断的に活用し、地元の漁業協同組合の協力を得て、水産教室（講話・網おこし見学・ロープワーク）、新巻鮭づくり（説明・新巻鮭づくり）、安全マップ確認（ゴミ拾い、津波浸水域や地域の危険箇所調査）、調理実習（地元で水揚げされた魚を利用）を行う。
 - ・地域の主産業である漁業の現状や震災被害からの復興取り組み、今日的な課題について学ぶ。
 - ・地元漁業の協力を得て、体験活動を行い、実際の漁業について考え、まとめる。
 - ・震災時の浸水地域だけでなく、登下校時の危険箇所を地区ごとに歩いて調査し、安全マップを確認する。
- ② 美術科・夏休みの時間で、海の絵（水産教室・漁業者の作業の様子、海の風景を題材）を作成し、出品する。
 - ・海の恵みや海で働くこと、海の風景などを表現する。
- ③ 総合的な学習の時間・学校行事・社会科の時間で、郷土と海の間わりを学び、郷土芸能（剣舞・ささらを披露）、文化祭演劇（地域素材をテーマにした演劇）を披露する。
 - ・郷土芸能の剣舞・ささらの踊りの謂われや祭りで演じられる理由を海との関わりからも捉える。
 - ・地域を調べ、地域を題材にしたオリジナル脚本での演劇を披露する活動を通して、地域と海との関わりについて考える。

4. 実践計画

(1) テーマ・概要・活動計画、教科との関連等

① 全校生徒

ア 「郷土芸能伝承活動」 1～3年 20時間（総合的な学習の時間・学校行事）

- ・ テーマ 地域に伝わる郷土芸能の謂われや海との関わりを知り、伝承活動を意欲的に行おう。
- ・ 概要 地域に伝わる郷土芸能の謂われやお盆・地域の祭りでも演じられてきた意味を理解した上で、地域指導者や先輩の指導の下、総合的な学習の時間・学校行事の時間を使い、

郷土芸能伝承活動に取り組み、運動会で地域に披露する。

- ・ 活動計画 4～5月。1～3年。全員参加でオリエンテーションを実施（活動の流れ、謂われ、海との関わりの確認）→ 1年生。剣舞面作りとささらの衣装等の確認 → 1～3年生。先輩・地域指導者の指導による練習 → 運動会で披露 → 行事作文としてまとめる
- イ 「地区奉仕作業・安全マップ確認」1～3年 1時間（総合的な学習の時間）
 - ・ テーマ 地域での活動を通して、地域への理解を深めるとともに、危険箇所や浸水地域を知り、海と地域との関わりを知ろう。
 - ・ 概要 総合的な学習の時間を使い、地区ごとに分かれて、通学路のゴミ拾いをしながら、地域の危険箇所や浸水地域を確認し、合わせて、海の影響や自分たちの安全について考える。
 - ・ 活動計画 6月。1～3年。地区ごとに分かれて学校出発 → 通学路を下校しながらゴミ拾い → 地区ごとに危険な箇所がないか、どこまで浸水したのかを確認 → ゴミを各自処理 → 地区ごとの危険箇所や浸水地域を前年度作成の安全マップで再確認
- ウ 「海の絵」1～3年、文化部 1時間（美術）・夏休みの課題
 - ・ テーマ ふるさと綾里の自然や海と共に生きる人々について知り、海と共に生きる人々の営みや海の自然を表現しよう。
 - ・ 概要 美術の時間や担当者から全校生徒に呼びかけ、海に関する仕事や海の風景に注目させて夏休みの課題として取り組み、作品展に応募する。
 - ・ 活動計画 7～8月。1～3年。夏休み前の美術の時間及び作品出品担当から海の絵についての作品募集を提案 → 夏休みに希望者は各自作品作りに取り組む → 夏休み明けに提出 → 作品展に応募

② 1年生・2年生

- ア 「地域を題材にした演劇」1年・2年 21時間（総合的な学習の時間・学校行事）
 - ・ テーマ 地域を調べ、地域の歴史や地域の人々の歩みについて知り、地域の人へ披露しよう。
 - ・ 概要 総合的な学習の時間や学校行事の中で、地域の民話や歴史を調べ、それをもとに脚本を作り、文化祭で演劇として披露する。
 - ・ 活動計画 8～10月。1年と2年が学年毎に行う。担当教員を中心に地域の歴史や民話について調べる → 調べたことをもとに演劇の脚本を作る → 脚本の読み合わせを行い、役割分担を決める → 演劇練習を行う → 文化祭で地域の方々に披露する → 行事作文としてまとめる
- イ 「地域で水揚げされた魚を使った調理実習」1年・2年 4時間（家庭科）
 - ・ テーマ 魚の調理上の性質を知り、その性質を生かした調理をしよう。
 - ・ 概要 家庭科の時間を使い、地域で水揚げされる魚を使つての調理実習を行い、海との関わりや魚を調理する上での性質などを理解して調理を行う。
 - ・ 活動計画 家庭科の授業で調理実習計画を作る → 綾里漁協に調理で使用する魚（1年鮭、2年

鯖) を注文 → 調理実習 → 試食 → まとめ

ウ 「海の学習」 1年・2年 各2時間 (社会科)

- ・ テーマ 綾里と海の間わりを知ろう
- ・ 概要 社会科の時間を使い、海についての学習を行う際に綾里との間わりを中心に学習を進める。
- ・ 活動計画 学級毎に社会科の時間で海について綾里と間わらせながら、プリントや資料を使い学習する (「世界の海の姿」「綾里と海の歴史的な間わり」「地震津波」「漁業」)。

③ 1年生

ア 「新巻鮭づくり」 1年 4時間 (総合的な学習の時間)

- ・ テーマ 鮭の新巻づくりに挑戦し、漁業に対する理解を深めよう。
- ・ 概要 総合的な学習の時間を使い、綾里漁協の協力の下、指導を受けながら鮭を捌いて新巻づくりを行う。
- ・ 活動計画 綾里漁協と計画について打合せを行い、合わせて協力を依頼する → 事前学習・用具の確認 → 体験① (鮭の説明ややり方の指導を受け、エラを取り除く・腹を割り内臓を取り出す・洗う・塩をすり込む・タンクに入れる) → 体験② (塩を洗う・袋に入れる) → お礼とまとめを書く

④ 2年生

ア 「クリーンフェスティバル」 2年 2時間 (総合的な学習の時間、体育)

- ・ テーマ 海岸清掃を通して地域の環境保全の意識を高めよう。海への親しみと自助意識を高めよう。
- ・ 概要 B&G海洋センター・水難学会の協力を得て、総合的な学習の時間と体育の時間を使ってゴミ拾い及び着衣水泳を行う。
- ・ 活動計画 夏休み前に海洋センター・水難学会と打合せ → 8月末、海岸のゴミ拾いを行った後、海洋センターのプールで着衣水泳を行う → まとめ

イ 「水産教室」 2年 6時間 (総合的な学習の時間)

- ・ テーマ 漁業について理解を深めよう。
- ・ 概要 総合的な学習の時間を使い、綾里漁協の協力の下、漁業について講義・洋上見学・ロープワークの体験を行う。
- ・ 活動計画 綾里漁業と活動について打合せを行い、合わせて協力を依頼する → 事前学習・用具の確認 → 講義 (綾里の漁業について・漁業の課題) → 洋上見学 (定置網の網おこしを船上から見学・水揚げされた魚を試食) → ロープワーク体験 → お礼とまとめを書く

⑤ 3年生

ア 「復興ワークショップ」 3年 4時間 (総合的な学習の時間)

- ・ テーマ 自分や地域を見つめ、地域との間わりや自分の人生設計について考えよう。
- ・ 概要 総合的な学習の時間を使い、常葉大学の池田浩敬教授の指導の下、人生デザインゲー

ムやインタビューなどを行い、地域の先輩の生き方を知り、自分の将来の生き方について考える。

- ・ 活動計画 5月に池田教授と打合せを行い、活動の進め方や準備について確認 → 7月、人生デザインゲームを中心に1回目の復興ワークショップ開催 → 夏休み中の課題（身近な人やお盆で綾里に帰ってきた人にインタビュー）の確認 → 資料の整理と第2回の打合せ → インタビュー内容をもとに2回目の復興ワークショップ開催 → まとめ
- イ 「職場体験学習」 3年 12時間（総合的な学習の時間）
- ・ テーマ 実際に仕事を体験し、自分の将来について考えよう。
- ・ 概要 地域活性化総合研究所と連携し、体験する職場を決定し、依頼や事前連絡にも生徒を関わらせ、希望の職場で職場体験を行う。
- ・ 活動計画 地域活性化総合研究所と連携し、職場体験について打合せを行う → 職場体験についてのオリエンテーション → 希望の職場調査 → 地域活性化総合研究所を通して、職場体験の依頼 → 体験場所の調整 → 生徒の電話による事前連絡と必要事項の確認 → 職場体験事前指導 → 職場体験 → お礼状を書くことによる体験のまとめ

(2) 実践の評価について

以下の点について、活動の様子や活動のまとめとしての作文やお礼状の内容等を中心に評価する。

- ・ 活動のテーマを理解し、意欲的に活動に取り組むことができたか。
- ・ 郷土への理解を深めることができたか。
- ・ 職業観の育成やこれから生き方について考える機会につながったか。
- ・ 活動を行う中で自分の考えを持つことができたか。
- ・ 自らの行動について判断する能力が高まったか。
- ・ 自分の考えまとめ、相手に伝える力が高まったか。

5. 今年度の実践について

① 計画からの追加・変更点

・ 3年生の職場体験学習において、職場との連絡の橋渡しに地域活性化総合研究所が関わってくれることになった。

② 実践の成果

・ 今回の活動に取り組むにあたり、これまでバラバラに実施してきた取り組みや活動を、海洋教育という視点で、一つの軸を持って系統的に位置づけることができた。それにより、指導のねらいやつながりがはっきりし、活動が充実したものとなった。

・ 海との関わりや綾里が海に支えられている地域であることを改めて知ることができた。

・ 地域の様子、地域に暮らす人々について知る機会となり、自分の将来や地域について考える様子が見られた。また、地域に支えられていることを実感させることができた。

・ さまざまな体験や考える場を通して、成長の様子が見られた。

・ 海からの恵みや海との関わりについて意識することができた。

・お礼状やまとめ作文に感謝の気持ちや学びが自分のことばで表されており、表現力や発信する力に成長が感じられた。

③ 次年度への課題

・事前指導の時間を十分に確保することができず、指導者側から与える形で進められたものもあり、課題意識や課題解決への意欲、個々の情報発信については十分とはいえなかったため、事前指導にも時間を確保することが必要である。

・活動内容について、今年度の反省を生かし、改善をしていく必要がある。

・海洋教育パイオニアスクールプログラムとして、予算の裏付けを持って活動することができたが、次年度は、独自の財源をもとに活動できるよう今年度得た資源をもとに工夫していきたい。

6. 主な連携機関及び内容

- ・綾里漁業協同組合：水産教室での講話・洋上見学の船の手配や運行・ロープワークの指導・鮭の準備・新巻鮭づくりの指導・鮭や鯖の手配と納品
- ・常葉大学池田教授：復興ワークショップの指導・資料作り
- ・野形地区公民館：剣舞の指導
- ・B&G海洋センター：クリーンフェスティバルの指導
- ・大船渡市消防組合・水難学会：着衣水泳の指導
- ・地域活性化総合研究所：職場体験の体験場所と学校の橋渡し

7. その他

具体的な活動の詳細については、別冊子『平成29年度海洋教育パイオニアスクールプログラム活動報告書 活動名 ふるさとを知り、見つめ、自己の将来・生き方を考えよう』にまとめた。

成果報告書 2 : 海洋教育のストーリーマップ

(1) 1学年「ふるさとを知り、見つけ、自己の将来・生き方を考えよう」

【実践のねらい・目標】

- ・豊かな三陸の海と深い関わりを持つ地域の素晴らしさを、体験活動等を通して学び、地域に生きる人々の生活や職業、郷土芸能について理解を深め、自らや地域の将来について考え、自己のより良い生き方について考えさせる。
- ・地域や水産業への理解を深めることができるように、郷土芸能活動、安全マップ確認、新巻鮭づくり、調理実習などの体験的活動を取り入れる。自分たちの地域を深く見つけ、体験する活動を通して、主体的に学び、生き方を考える力を育てる。

○時数 4月～1月 54時間（総合的な学習の時間・学校行事47、美術1、社会2、家庭4）

○関連 美術、社会、家庭

【主な連携機関と内容】

- ・野形地区公民館：郷土芸能
- ・綾里漁業協同組合
：新巻鮭づくり、調理実習

月	体験的な活動	探求的な活動	表現的な活動
4	郷土芸能 ・踊りの練習 ・お面作り (総合・行事20)	・踊りの謂われをつかむ	・運動会で保護者、地域の方々に披露
5		・どうして踊られるのか探る	・文化祭でお面を展示
6	地区活動 ・地区のゴミ拾い ・危険箇所確認 (総合1)	・ゴミの量、地域の危険箇所を知る ・津波浸水地域を確認	・安全マップへの書き込み
7			
8			海の絵 ・地域の自然や産業、産物を絵やレターに描く (美術1・夏休み課題)
9	地域題材の演劇 ・地域の題材を扱いオリジナル脚本による演劇を行う (総合22)	・題材や地域の様子を調べ、脚本に生かす ・登場人物像や演技、音響や照明の工夫をする	・演出を工夫し、文化祭で発表する
10		海の学習 ・綾里と海の関わりを知る	(社会2)

11	新巻鮭づくり	・地域の漁場から水揚げされた鮭を使って新巻を作る	・作業の仕方、作り方や苦労について知る ・漁業者の様子を知る	・新巻づくりについて感想やお礼状としてまとめる
12		(総合4)		
1	調理実習	・地域の漁場から水揚げされた鮭を使った料理を作る	・鮭の調理上の性質を知り、その性質を生かした調理法を知る ・綾里と海の関係の近さを知る	・反省をまとめる ・盛りつけを工夫し、試食する
		(家庭4)	まとめ	
2				
3				

(2) 2学年「ふるさとを知り、見つけ、自己の将来・生き方を考えよう」

【実践のねらい・目標】

- ・豊かな三陸の海と深い関わりを持つ地域の素晴らしさを、体験活動等を通して学び、地域に生きる人々の生活や職業、郷土芸能について理解を深め、自らや地域の将来について考え、自己のより良い生き方について考えさせる。
- ・地域や水産業への理解を深めることができるように、郷土芸能活動、安全マップ確認、クリーンフェスティバル、水産教室、調理実習などの体験的活動を取り入れる。自分たちの地域を深く見つけ、体験する活動を通して、主体的に学び、生き方を考える力を育てる。

○時数 4月～1月 55時間（総合的な学習の時間・学校行事47、美術1、社会2、家庭4、体育1）

○関連 美術、社会、家庭

【主な連携機関と内容】

- ・野形地区公民館：郷土芸能
- ・B&G海洋センター
：クリーンフェスティバル
- ・大船渡市消防組合：着衣水泳
- ・綾里漁業協同組合
：新巻鮭づくり、調理実習

月	体験的な活動	探求的な活動	表現的な活動
4	郷土芸能 (総合・行事16)	・踊りの練習	・踊りの謂われをつかむ
5		・お面作り	・どうして踊られるのか探る
6	地区活動 (総合1)	・地域のゴミ拾い	・ゴミの量、地域の危険箇所を知る
7		・危険箇所確認	・津波浸水地域を確認
			海 の 絵 (美術1) ・地域の自然や産業、産物を絵やレターに描く

8	<p>クフ リエイ ー スバ ンテル</p> <p>・海岸清掃活動を行う ・着衣水泳を行う</p> <p>(総合1、体育1)</p>	<p>・海岸環境の実態をつかむ ・着衣の状態での泳ぎ方の大変さを知る ・身近にある浮きに代用できるものを知る</p>	<p>・感想、お礼状としてまとめる</p>
9	<p>地域 題材 の 演 劇</p> <p>・地域の題材を扱いオリジナル脚本による演劇を行う</p> <p>(総合22)</p>	<p>・題材や地域の様子を調べ、脚本に生かす ・登場人物像や演技、音響や照明の工夫をする</p>	<p>・演出を工夫し、文化祭で発表する</p>
10		<p>海の 学 習</p> <p>・綾里と海の関わりを知る</p> <p>(社会2)</p>	
11	<p>水産 教 室</p> <p>・洋上から定置網の網おこしを見学する</p> <p>(総合6)</p>	<p>・定置網での漁の様子を知る ・漁業の様子や現状・課題について知る</p>	<p>・洋上見学や講話について、感想やお礼状としてまとめる</p>
12	<p>調理 実 習</p> <p>・地域の漁場から水揚げされたサバを使った料理を作る</p> <p>(家庭4)</p>	<p>・サバの調理上の性質を知り、その性質を生かした調理法を知る ・綾里と海の関係の近さを知る</p>	<p>・反省をまとめる ・盛りつけを工夫し、試食する</p>
1		<p>まとめ (総合1)</p>	
2			
3			

(3) 3学年「ふるさとを知り、見つめ、自己の将来・生き方を考えよう」

【実践のねらい・目標】

・豊かな三陸の海と深い関わりを持つ地域の素晴らしさを、体験活動等を通して学び、地域に生きる人々の生活や職業、郷土芸能について理解を深め、自らや地域の将来について考え、自己のより良い生き方について考えさせる。

・地域への理解を深めることができるように、郷土芸能活動、安全マップ確認、復興ワークショップ、職場体験などの体験的活動を取り入れる。自分たちの地域を深く見つめ、体験する活動を通して、主体的に学び、生き方を考える力を育てる。

○時数 4月～1月 35時間（総合的な学習の時間・学校行事34、美術1）

○関連 美術

【主な連携機関と内容】

- ・野形地区公民館：郷土芸能
- ・常葉大学：復興ワークショップ
- ・地域活性化総合研究所：職場体験

月	体験的な活動	探求的な活動	表現的な活動	
4	郷土芸能 ・踊りの練習 ・お面作り (総合・行事 16)	・踊りの謂われをつかむ ・どうして踊られるのか探る	・運動会で保護者、地域の方々に披露 ・文化祭でお面を展示	
5				
6	地区活動 ・地区のゴミ拾い ・危険箇所確認 (総合 1)	・ゴミの量、地域の危険箇所を知る ・津波浸水地域を確認	・安全マップへの書き込み	
7	復興ワークショップ ・人生創造マップを使い、自分の人生をイメージする	・地域の方や地元を離れた方から綾里についてのインタビュー等で、綾里や生き方について調査する	(美術 1) 海の絵 ・地域の自然や産業、産物を絵やレターに描く	
8			・地域の在り方や自分の生き方についてまとめる	
9	(総合 4)			
10	職場体験 ・希望の職場で職業やその仕事を体験する (総合 12)	・仕事体験することで大変さや喜びを知る ・直接職場の人から仕事について聞く	・体験を感想やお礼状としてまとめる	
11				
12				
1	まとめ			(総合 1)
2				
3				